

鹿島社有林整備吸収源プロジェクトその2（福島）

本プロジェクトは、福島県の羽鳥山林及び日影山山林において、スギ・ヒノキ林の間伐及び、広葉樹林の間伐（抜き切り）、弦切り、下草刈り等を行ない、魅力ある森林整備を行なうとともに、温室効果ガスの吸収力を高めるものです。

プロジェクトの実施場所	福島県猪苗代町及び天栄村
吸収量（予測）	年間126t-CO ₂
在庫量	241t-CO ₂ （2012年7月時点）
クレジットの次回発行予定	2012年年度末
1t-CO ₂ あたりの希望単価	なし

【魅力ある森づくりの実施】

ナラ、クリ、シナ、ホウ、カエデなど多様な樹種からなる広葉樹林が中心であり、間伐材はチップや燃料としての利用を行い、整理された森林は成長が高まりCO₂も吸収固定されます。また、草花、きのこ、山菜など利用価値の高い山林を育成し、美しくかつ魅力ある森づくりを行なっています。広葉樹は伐倒しても萌芽や実生での更新が行われるため、上手に手を入れてゆけば造林の手間をかけなくても持続可能な活用が可能です。



■ 担当者連絡先

(氏名: 三浦、TEL: 03-5544-0743)

EMAIL: miurakaz@kajima.com)